

英語が話せ使える子どもの育成を

新学習指導要領により、昨年4月から小学校では外国活動が始まりましたが、それに先駆けて10年前から、下諏訪町では小学校の英語教育に取り組んで来ています。

経緯

下諏訪町では英語教育（国際理解教育）の推進を図るため、昭和59年より町単独で中学校に外国人講師を採用してきました。平成13年度からは、2小学校にも国際理解教育に外国人講師NLT(Native Language Teacher)を配置しました。平成16年からは英語教育推進特区の認定を受け、小学校に英語科を設置し、聞く・話す能力を伸ばすため、活動中心のカリキュラム～レシピ方式(PLSシステム®)～を取り入れた授業を行って来ています。

レシピ方式(PLSシステム®)って？ =Pacific Language School

公立小中学校で、ネイティブの英語講師と担任とのチームティーチング授業で、年間35時間程度(週1時間)を想定し、バラエティーのある学習を組み合わせで行います。1時間完結型でない、繰り返しを重視したスパイラル型の学習方法を言います。

ちょっと拝見 ～英語授業～ 下諏訪南小

四年 平林学級(現五年)



①始まりは壁ぎわにあるカードを見て、英単語を言い合う



②Dのつく英単語(名詞)をグループで競う



③アルファベットを書く。その文字が頭につく言葉を探そう



④NLTと担任、2人の先生が答え合わせ



⑤今度はできた人が先生になって答え合わせ

六年 矢満田学級(現卒業)



①授業の始まりは当番が… Date, Day, Time



②Yes, he does. No, he doesn't. どちらかな? 迷いながら答える



③友の答弁に引き込まれ思わず微笑む



④リチャード・ヘルナンデス先生のテンポある楽しい授業が続く

「毎週あることで英語が忘れにくくなり、力がついてきている。」と平林先生。英語の授業は「楽しい」「好き」「先生がおもしろい」という子がほとんどです。中に1人2人「覚えることが一杯あって大変」と言う子がいました。楽しんでやればいいんだよね!

科学の楽しさ、おもしろさを十分に味わってほしい

<JAXAの宇宙教育>

宇宙の謎は子どもたちの好奇心や想像力をかきたて、人類の宇宙への挑戦は冒険心を刺激します。子どもたちの強い好奇心や冒険心を拠点に、その秘密を解き明かすための科学へと深い関心が向くように導きます。

子どもたちのもつこれらの心にいったん火がつけば、自らの探求心を駆使して、知識や技術の輪は広がり、これを作り上げていく匠の心が育つでしょう。

- 知りたい 好奇心
- 行きたい 冒険心
- 作りたい 匠の心

ちょっと拝見「コズミックカレッジ」～講師のお話より～ 文化センターにて

Ⅰ 宇宙ってどんな所か

- ・大気(空気)がない
- ・水もない
- ・重力がない
- ・日なたと日かげの温度差 270℃差(+120℃～-150℃)

Ⅱ どこからが宇宙か

- ・世界最高峰エベレストは8848m
- ・飛行機10000m(10km)まで飛べる
- ・人間が住めない所100km(下諏訪～姨捨の距離)上空
- ・宇宙ステーションは400km上空(東京～大阪の距離)

Ⅲ 宇宙ステーションでの生活は?

<何を着ているの?>

- ・動きやすいふつうの服装
- ・風呂に入れないが、同じものを着ていても臭くならない
- ・水のいないシャンプーで髪を洗う
- ・ふわふわ飛んでいってしまうのでマジックテープが付いている
- ・ステーションの外では、宇宙服を着る

<食事は?> 宇宙に行くと食べるのが楽しみ。食中毒にならない 食べる時危なくないもので、好きなものを持っていく。

<寝るときは?> 立って寝る



宇宙服

- ・外が真空でも平気
- ・宇宙で7日間仕事ができる
- ・水も飲めて、食事もある
- ・トイレはオムツ
- ・重さ120kg
- ・1着13億円

大気のある世界とない世界を体験しよう!

アルミ缶の実験



アルミ缶の中の空気を吸盤を使ってとっていき、中を真空にしてみよう。  
「アッ!缶がつぶれちゃったよ!」

マシュマロの実験



マシュマロを入れたケースの中の空気を抜いて、中を真空にしてみよう。「マシュマロがふくらんできたよ...」  
「また空気を入れたら、一気にしぼんでしまった。」